

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	赤平市	代表者名	畠山 渉
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0125-32-2211
担当者役職	主任主事	担当者氏名	山本 和弘
住所	079-1192 北海道赤平市泉町4丁目1番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	赤平市幹部級職員向け勉強会の前日打ち合わせとして、赤平市から現状を改めてお話しさせていただき、高村氏より講演内容の全体的な流れと、事前にお渡しした当市市長の考えをもとにどのようにDXを進めていくのか、的確な講演内容でお話いただけたと感じた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年1月16日	事前打合せ(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			17時30分	19時00分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	赤平市役所	最寄駅	赤平駅	
	所在地	赤平市泉町4丁目1番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	赤平市におけるDX推進のビジョン及び工程表を含めた全体的な方針がまだ策定されておらず、早急に準備を進める必要がある。そのために、他の自治体における先行事例をご教示いただいた上で策定の参考とさせていただきます。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	勉強会の対象者を、市長・副市長・教育長を含めた幹部級職員とすることで、赤平市におけるDXの機運醸成、課題の洗い出し等を促す目的としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	勉強会でお話いただく以下の内容について概要についての説明 1. 国の考えるデジタル化社会 2. 自治体におけるサービスデザイン思考とは 3. 標準化とガバメントクラウド 4. BPRの難しさとは 5. 戦略・組織体制（マネジメント）について 6. 国の支援策（人材育成・確保）	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	標準化の概要や国が目指す窓口改革の姿など、理解が足りていなかったと再認識できた。また、実現に向けてどういった課題があるのかや自治体の限界との折り合いの付け方の基本的な考え方を学ぶことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのためアンケート未実施	
5-3. 今後の計画 事業の最終的な目指す姿	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

